



# まほろばだより

2014  
Winter  
vol.08

公立大学法人 奈良県立医科大学 女性研究者支援センター

第8号



## Contents

- ① ハラスメント防止研修会「職場のいじめ・嫌がらせ、パワーハラスメントの予防・解決に向けて」を実施しました
- ② 近畿地区近隣大学交流会を開催しました
- ③ 女子中高生の医理系進路選択支援「医理系の研究って、すっごくおもしろい!」を開催しました
- ④ コミュニケーションスキルを学ぼう!  
第8回「あかるい職場を目指して」
- ⑤ Information



### Report 1

## ハラスメント防止研修会「職場のいじめ・嫌がらせ、パワーハラスメントの予防・解決に向けて」を実施しました

2014年1月27日、独立行政法人労働政策研究・研修機構副主任研究員である内藤忍氏を講師に迎え、「職場のいじめ・嫌がらせ、パワーハラスメントの予防・解決に向けて」というタイトルでハラスメント防止研修会を実施しました。今回は本学医療安全推進室と共催で行いました。当日は276名もの参加があり、立ち見が出るほどの盛況な会となりました。

内藤氏は職場のハラスメントの現状、ハラスメントが及ぼす影響、職場のハラスメントが起こる背景・要因、ハラスメントに関する国の動向、労使の取組みのあり方、管理・監督者が果たすべき役割について講演されました。

質疑応答では「周りがその行為をパワーハラスメントと違っていても、本人はハラスメントを受けていると感じている場合、どう対応すればいいのか」など活発な質疑が行われました。研修会後のアンケートでは、「管理職の意識を変えることが必要」「具体的な事例もぜひ聞いてみたいと思った」「相手に対してパワハラな発言や言動を行っていないかを振り返る機会となった」といった感想が寄せられました。



### Report 2

## 近畿地区近隣大学交流会を開催しました

2013年11月29日、本学基礎医学棟会議室にて「男女共同参画のための近畿地区近隣大学交流会」を開催しました。この交流会は、近畿地区の国公立大学、医科大学、近隣私大との、女性研究者支援に関する日頃の活動や疑問点などの情報交換および新たなネットワークづくりを目的とし、滋賀医科大学と共催で開催したものです。

当日は本学以外に滋賀医科大学男女共同参画室、京都府立医科大学男女共同参画推進センター、神戸大学医学部附属病院D&N plus プラッシュアップセンター、兵庫医科大学の4大学から計7名の方にご参加いただきました。本学喜多英二センター長による開会挨拶の後、各大学からこれまでの取り組みや課題についてご発表いただきました。プレゼン後の意見交換ではニュースレターやホームページを通してはうかがい知ることのできない現場の生の声を聞くことができ有意義な時間となりました。





## 女子中高生の医理系進路選択支援 「医理系の研究って、すっごくおもしろい！」を開催しました



大林千穂 教授

1月11日、奈良県文化会館にて女子中高生の医理系進路選択支援「医理系の研究って、すっごくおもしろい！」を開催しました。このイベントは女子中高生を主な対象とし、医理系分野への興味・関心を高めてもらうことを目的に、内閣府男女共同参画局の事業採択を受け、一般社団法人奈良県医師会及び一般社団法人大学女性協会奈良支部と共催で行ったものです。午前の部の基調講演とパネルディスカッション、午後の部のサイエンスカフェと2部に分けて実施し、延べ100名ほどの参加がありました。

午前の部では本学吉岡章学長の開会の挨拶のあと、ロールモデルの提示として本学病理診断学講座の大林千穂教授、奈良女子大学大学院生活環境科学系の森本恵子教授による基調講演が行われました。

大林先生は「私の進んできた道、そしてこれから」というテーマで、これまでの経歴、実際に毎日仕事をしている研究室の様子を紹介するとともに、日々の学習・仕事の中に面白みを感じる大切さを伝え、「一本道を真っすぐ進むだけの人はいない。成功する人もいろいろな岐路を経ています」と参加した女子中高生たちにエールを送られました。

また、森本先生は「医理系研究は“くせ”になる？」と題し、研究を始めるようになるまでの経緯、研究の面白さに目覚めたきっかけ、自身の研究内容の紹介などについて時折冗談を交えてご講演くださいました。最後に「人生は何が起きるか分からない。自分を磨き、これが専門と言える何かを持って」と学生たちを励まされました。

続いて女性研究者4名によるパネルディスカッション「女性が医理系分野で研究するには」では、自身の学生時代の思い出や医理系進路を選択した理由、キャリア形成上での苦労話などについてディスカッションが行われました。会場からは「学生時代に勉強する意味」についての質問があり、参加した学生たちはその答えにうなずきながら興味深く真剣に耳を傾けていました。

午前の部終了後のアンケートでは「私のこれからを考える良い一歩になった」「いろんな道があるところや、どんどんチャレンジする気持ちを大切にしたい」といった前向きな声や、「中学生へ向けてのメッセージは会場の子どものモチベーションアップになったと思う」という保護者からの感想も寄せられました。



森本 恵子 教授

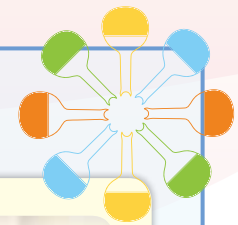
午後のサイエンスカフェでは本学女性教員が普段行っている研究内容を女子中高生に紙芝居形式でわかりやすく解説。最後にクイズや質問コーナーを設け、参加者が気軽にサイエンスに触れることのできる場としました。また、身近な将来像を描いてもらえるように各カフェテーブルに本学女子学生をチューターとして配置し、和やかな雰囲気の中、閉会を迎えました。



パネルディスカッション



サイエンスカフェ



## サイエンスカフェの様子



### 『HLAが妊娠の謎を解く？』

細菌学教室 王寺 典子 助教



### 『イモリ求愛の不思議』

第一生理学教室 豊田 ふみよ 講師



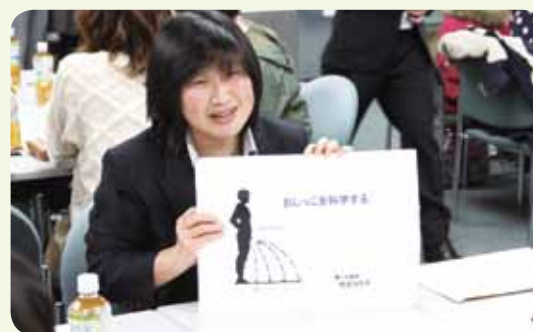
### 『おもしろ人体解剖学』

第二解剖学教室 辰巳 晃子 准教授



### 『健康寿命をのばそう！』

地域健康医学教室 岡本 希 講師



### 『おしっこを科学する』

第二生理学教室 松吉 ひろ子 助教



### 『糖尿病と膵(すい臓)β細胞』

生化学教室 山内 晶世 助教

## サイエンスカフェ参加者の感想

- ・大学の先生が研究していることをとても分かりやすく教えていただいて、おもしろかった。
- ・授業で習った事とつながっていたのでおもしろかったです。
- ・自分の気づかないところや知らないことがたくさん発見できたと、年の近い大学生がいたのでより現実味をおびた体験ができました。





ハラスメントを未然に防ぐためのコミュニケーションスキルについて毎号ご紹介していきます。

## 第8回 『あかるい職場を目指して』

厚生労働省が平成24年に行った調査によると過去3年間にパワーハラスメントを受けたことがあると答えた人は回答者全体の25.3%であると報告されています。今回はどのような職場でも手軽に取り入れることのできる啓発の方法をご紹介します。

### これってパワハラ？

このポスターは厚生労働省がパワーハラスメント防止のために開いている「あかるい職場応援団」というサイトが発行しているものです。ポスターには

- ・ 毎朝、挨拶しても無視される
- ・ 厳しく指導したら、誤解された
- ・ 回覧物が自分だけに回ってこない

などのパワハラになり得る例が書かれており、「これはパワハラになるから気を付けよう」と気づいてもらえる啓発効果があります。ダウンロードしてポスターとして職場に貼ることもできるようになっていますので、気になる場所に貼っておくというのもひとつの方法です。

このように周知・啓発を行うことにより、パワーハラスメント防止に向けた意識を全体に浸透させることが期待されます。



## Information 総括シンポジウムを開催します

日時：平成26年3月4日(火) 13:30～

場所：奈良県立医科大学 厳樞会館3階大ホール

対象：本学および附属病院の教職員、学生、一般

- 13:30 開会・挨拶 吉岡 章学長
- 13:40 センター活動報告
- 14:00 成果報告
- 14:30 パネルディスカッション
- 15:00 女性研究者学術研究奨励賞 表彰式・受賞者講演
- 15:30 閉会・挨拶 喜多 英二センター長



### 【編集後記】

女性研究者支援センターまほろばが設置され、はや3年がたとうとしています。総括シンポジウムは3年間の取組を振り返るとともに、今後の女性研究者支援推進のための活動のあり方を一緒に考える機会とします。また、事業実施に関わったメンバーがこの支援を通して得られたものについて発表、パネルディスカッションをおこないます。是非ご参加ください。

### 【編集・発行】

奈良県立医科大学 女性研究者支援センター「まほろば」  
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840  
奈良県立医科大学 基礎医学学校舎5階  
TEL：0744-23-8011(直通)0744-22-3051(代)内線：2525  
E-mail：jshien@naramed-u.ac.jp

